

# MailDMSender++

<取扱説明書>

MailDMSender++には次の特徴があります。

- **SMTPからではなく**、いきなり相手のメールサーバにアクセスするDNS配信！
- 誰が送ったかさえないので、あらゆる**クレーム皆無**。
- 今迄のツールの相場では考えられない**激安価格設定**。
- 知らない誰かのメールサーバを勝手に拝借！「**特殊DNS配信モード**」実装！
- **超初心者でも扱える**分かりやすい設計。
- ユニコード配信で**文字化け知らず**。
- 付属する姉妹ソフトMailMarketterPROで**あらゆる手法でメルアド收拾**。

## とにかく怖い物知らず！

最強のスタンドアロン形式（単体で機能する）による。  
メールDM配信ソフトウェアです。

メールDMによる販促活動がどれだけ強力な物か？それは良くご存知の事ですね。

しかし、問題は配信方法にありました。

会社レベルで大掛かりにやるのであれば、自前のメールサーバを用意したりどのような方法も取れると思います。

しかし、零細企業・個人、まして副業となるとそのような大掛かりなコストは出せる訳が無く、効果的と知っていても実用にいたるには、大きな壁がありました。

「もっと簡単に大量送信が出来たらいいのに…」

「メールDMで怖いのはクレームなんだよな…」

「実際開封率が低いから、見てもらえないじゃん。」

様々有ると思います。

しかし今回弊社ソフトウェアMailDMSender++（メールDMセンドー2プラス）はこの問題点をことごとくクリアにする事に成功しました。

## ■ 簡単に大量送信可能

MailDMSender++では、設定らしい設定がありません。初心者の方でもメールの送受信くらいが出来れば、扱いは簡単！

今すぐにメールDMの絶大な効果を味わって頂けます。

そして、もちろん沢山のメールを送信することが出来ますので、配信数に正比例すると言われていたメールDMの効果を有効に活用することが出来ます。

## ■ クレーム皆無！

メールDMでマーケティングを行っている時に一番面倒で怖いのがクレームです。MailDMSender++では、クレームメールの自動受信&除去機能付きで、あなたはクレームメールを読む事すら必要なく、また、ボタンを押す必要さえありません。

MailDMSender++が、送信時に自動的に受信拒否者を除外してくれます。

これで、あなたは言葉の暴力と迄言える、クレームメールに肝を冷やす事が無くなります。

## ■ 開封率の向上。

メールDMで心配なのは開封率。そんな悩みを解決するのが「自動差込送信機能」です。

AさんにはAさん向けの「Aさんだけに特別なご案内」の様なタイトルと文章。BさんにもBさん向けの「Bさんだけに特典のご案内」の様に、それぞれの送信先によって、文章に変化を加えながら完全自動で送信します。

これにより、開封率は格段にUP！

メールDMの最も大きな弱点「開封率」を克服しました。

実際の話ですが、この商品を発表する前にモニター様を募集したのですが、約500通のメールをこのソフトで送信し、返ってきた反応がなんと8通、メールDMであるにも関わらず、通常のDMの成約率を大きく上回る結果となりました。

正直私自身もこの強力さに驚いています。

※とはいえ、数で勝負も十分可能です。

さて、早速ですがこの強力なソフトの使用方法を流れにそって見ていきましょう。

## もくじ

- 起動
- 初期設定
- 本文等の準備
- 送信先リストの準備
- 配信方法の選択
- 配信
- 受信拒否について
- ErrorLogの見方

## ・起動

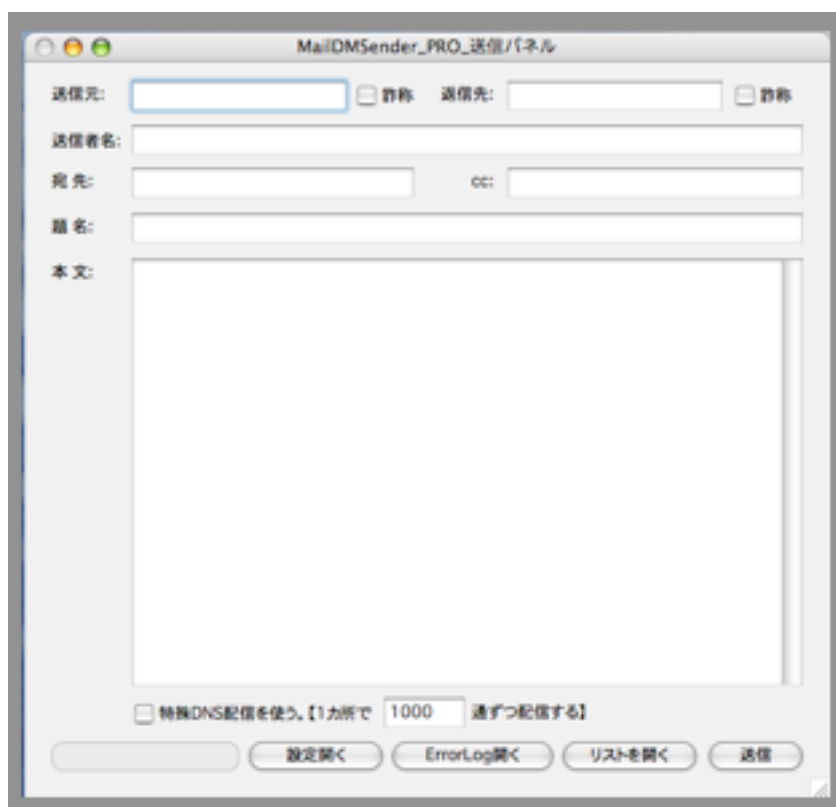
先ずインフォトップからダウンロードした圧縮ファイルを展開すると、「Archive」と言うディレクトリが作成されます。

そしてこの中に「denkikigyou\_man.zip」「MailDMSender++\_W.zip」「MMktProW.zip」の三種類の圧縮ファイルが有ります。

このうち「MailDMSender++\_W.zip」がこの製品のメインのファイルです。再び「MailDMSender++\_W.zip」を展開すると「MailDMSender++\_W」と言うディレクトリが出現します。

この中にある「MailDMSender++.exe」と言うのがこのソフトウェア本体です。

先ずダブルクリックして起動してみましょう。  
下のようなウィンドウが開けば起動成功です。



※こちらはMac版の画像ですが、Windows版も基本的には同様です。

※注意：MailDMSender++を機能させるには周辺ファイルとのディレクトリ位置関係が重要になります。ですので、ダウンロード（ファイル展開時）のディレクトリ構造を改変しない様にご注意下さい。  
ソフトウェア本体を移動する時は「MailDMSender++\_W」ディレクトリごと移動する必要があります。

## ・初期設定

### 設定方法=====

メニューから「初期設定作成パネル開閉」を選択。

次に、各設定項目14カ所を入力し設定保存を押します。

すると、起動し直す様にメッセージが表示されますので、従って下さい。

これで、設定は終わりです。

### 各設定項目について=====

**ツール名**：MailDMSender++では、デフォルトの配信ソフト名は「MailDMSender++」ですが、これを変更する事も出来ます。

なぜ変更する必要があるのか？ですが、このソフトが多くの方に使われる様になると、各プロバイダがこのソフトに対する対策をとってきます。

そうならない様にツール名はそれぞれ変更して使用した方が、問題も起こりにくく、あなたにとっても安全だからです。

記入しないと言う方法も有りますが、スパムレベルを下げる為に必要ですので、できるだけ半角英数で適当な名前をつけてあげて下さい。

**スパムレベルとは**：メールサーバには受け取ったメールがスパムメールかどうか判断する為のプログラムがインストールされています。レベルが有る一定を超えると、一方的に削除されたりしますので、これを刺激しない様にするのも大量配信の為には必要なノウハウです。

**送信ポート**：これはデフォルトで25になっています。別段触る必要は有りません。

**受信ポート**：これはデフォルトで110になっています。変更の必要は有りません。

**Shell待ち時間**：デフォルトは10000Msecですが、PC端末の処理速度によっては少なく設定する事も出来ます。

しかし、このソフトは非常にデリケートなシステムですので、触る時はテストをくり返し十分注意の上実施して下さい。

**送信間隔**：デフォルトは5000Msecです。これも上記同様です。

**受信間隔**：デフォルトは5000Msecです。やはりこれも上記同様です。

**チェックメルアド**：これは特殊DNS配信時に必要な項目です。特殊DNS配信では、外部から使用できるメールサーバを探すため、実際にこのチェックメルアドに送信してテストを実行します。このテストに使うメルアドがこの項目です。

特殊DNS配信はかなりグレーな配信方法ですので、万一発覚した時に足がつかない為に無料のメルアド等捨てアドレスを設定するのが無難です。

**チェックメルアドID**：チェックメルアドは、POP3で受信しますのでPOP3に対応しているメルアドである必要が有ります。

この時のIDをここに入力します。

**チェックメルアドサーバ**：チェックメルアドのメールサーバのURLを入れます。

**パスワード**：チェックメルアドのパスワードを入れます。

**キャンセル受付アドレス**：MailDMSender++では、送信時に自動的に受信拒否者の読み込みを行います。当然送るメールには受信拒否の受け用のメールアドレスを挿入する必要がありますので、そのメルアドを記入して下さい。

※本文中には自分で入力する必要があります。

**キャンセル受付用POP3**：上記アドレスもPOP3に対応している必要があります。そのPOP3のURLを入れます。

**キャンセル受付用メールID**：上記アドレスのIDです。

**キャンセル受付用Pass**：上記アドレスのパスワードです。

さて、これだけ設定して設定保存して再起動すると、用意した文章等も無くなってしまいますから、始めに済ませておきましょう。

## ・本文等の準備

送信する文章を用意しましょう。

上記の画面の中央「本文」と言うエリアに直接書き込む事も可能ですし、外部のテキストエディタからコピーする事も可能です。

**書く必要のある箇所は、送信元・返信先・送信者名・題名・本文の5カ所**です。

ですが、送信元の横にある「詐称」チェックボックスを使用する場合は、送信元は自動的に送信先のアドレスが入力されますので、必要は無くなります。

また、本文とメールの表題にはタグの使用が可能です。

タグと言うのは送信時にソフトが自動的に置き換えながら送信する為の印で次のような種類のタグを使用することが出来ます。

<hpTitle> ……メールマーケティングプロで書き出した巡回先HPのタイトル。  
<yourURL> ……メールマーケティングプロで書き出した巡回先HPのURL。  
<free1> ……自由項目  
<free2> ……自由項目  
<free3> ……自由項目

これを確認するには上記画面の右下から2番目の「リストを開く」ボタンを押してみてください。次のようなウィンドウが開きます。



※こちらはMac版の画像ですが、Windows版も基本的には同様です。

この上部リストの上にそれぞれ対応するタグ名が書かれていますので、ご確認ください。

例えば、次のような使い方が出来ます。

タイトル：<htTitle>の管理者様へオトクなお知らせ。  
本文：<free1>（<free1>に管理者名が入っている時）さん、こんにちは。  
<yourURL>を拝見してメールさせて頂きました。……

と言う感じです。

では、この送信リストの準備はどうやるのでしょうか？

## ・送信先リストの準備

MailDMSender++では各種ソフトから出力された「TAB区切りの」CSVファイルの読み込みが可能です。

Exelでリストを管理している場合はCSVの書き出し時に「TAB区切り」を選択しましょう。

上記のウィンドウ右下の「読込」ボタンを押すと、ファイルの選択ウィンドウが開き、そこで指定してから読み込むと1000件で5秒くらいのスピードで読み込みされます。

このスピードと言うのは飽くまでも私の環境での話なので、それぞれのPC端末機の処理速度によってはそれ以上待つ場合も有りますもっと早いかも知れません。

また、読み込みする前にはじめのウィンドウ下部にある「特殊DNSを使う。…」をチェックしておくと、このとき次のようなウィンドウも同時に開きます。



※こちらはMac版の画像ですが、Windows版も基本的には同様です。

「解析開始〜一括送信」というボタンがあります。  
これが「特殊DNS配信」のスタートボタンになります。

解析終了後すぐに送信へと進ませたい、つまり全自動にしたい場合は、中程左側の「解析後送信する」をチェックしてください。

いきなり送信ではなく、リスト化して踏台に使えるメルアドのリストが欲しい場合はこのチェックを外し「リストを保存する」を押して下さい。

この踏台リストは、Yahoo!のフリーメールなどセキュリティーが厳しくて、直接



メールを放り込めないようなサーバにメールを送信する時に、特殊DNS送信を実行し、そのときのリストの中にちりばめると効果があります。

## • 配信方法の選択

まずはこのソフトに実装された二つの配信方法をご紹介します。

### 1つめの配信方法：

#### 通常DNS配信>>

この配信方法では、宛先のメールアドレスに相当するメールサーバに直接メールを投げ込む方式です。

長所としては、前処理が必要なく即座に始められる点が挙げられます。

短所としては、送信元を詐称するチェックボックスがチェックされていない場合、メールの到達率が異常に低くなる点です。

### 2つ目の配信方法：

#### 特殊DNS配信>>

画面下の「特殊DNS配信を使う。…」と言うチェックボックスにチェックを入れた状態でする送信方法で、宛先のメールアドレスに相当するメールサーバではなく、何処の誰か知らないようなメールサーバのうち、外部からの使用が可能な物を探し出してそれを踏み台にして送信する方法です。

長所としては、全てのメールアドレスに対しエラー無く配信できる点です。時間の取れる場合はこの方法を試してみてください。

短所としては、外部からの使用を拒むようなセキュリティーが施されたメールサーバの普及により、使用できるメールサーバを探し当てるのに時間がかかる点です。

あるいは、前述の通り踏み台リストをあらかじめ抽出しておけば、送信するリストの頭の部分に追加する事で、滞り無く送信できる様になります。

## • 配信

通常のDNS配信をする場合は、この段階ではじめのウィンドウ右下の「送信」ボタンを押す事でスタートしますが、特殊DNS配信にはこのソフトの設定等が必要になってきます。

初期設定については先に挙げた項目をご覧ください。

特殊DNS配信は先に少し触れた通り「解析パネル」にある一つだけのボタン「解析開始～一括送信」でスタートできます。

### ・受信拒否について

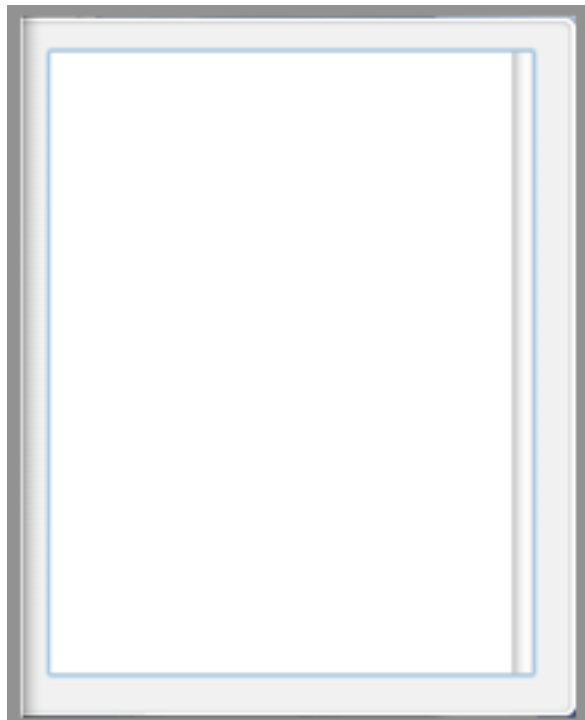
受信拒否者の扱いは、あなたは一切気に留める必要は有りません。  
送信時には受信拒否者のキャンセルメールを自動的に読み込み送信しない様にリストから削除されます。

そのために必要なのは初期設定で済ませた「受信拒否処理設定」で、試しに自分のメールアドレスから受信拒否メールを送信して、その後テスト送信をしてみてください。この時テストのメールが届いてしまうようであれば、設定が間違っていますので、やり直しの必要があります。

### ・ErrorLogの見方

配信が開始されると、サーバからの返答等がエラーログに表示されます。  
これを見る事で、自分の持っているリストがどのくらい制度の高い物であるかも分かって来ます。

エラーログは次のような何も無いシンプルなウィンドウです。



ログを見ているとこのソフトが頑張っている姿をかいま見ることが出来ます。

「頑張れっ」と応援してあげてください。

ソフトの使用説明はこれで以上です。

どうぞ心行く迄お楽しみ下さい。